

波々伯部神社の祭礼操り人形

ほおかべじんじやのさいれい
あやつりにんぎょう

県指定
所在地：宮ノ前



波々伯部神社に伝えられた祭礼操り人形は「おやまの神事」と呼ばれ、6年に一度、境内に組み立てられた「胡瓜山」と呼ばれる屋台の上で、操り人形「デコノボウ」を演じ物に合わせて操る。デコノボウは12体あり、高さ40～60cmの胴串だけの単純素朴な造りの人形で、それに演目に合った化粧（エカキ）を施し衣装を着せて使用する。



デコノボウは文楽、人形浄瑠璃の人形に先行するこれらの粗形と見られ、中世的色彩を留めた貴重な有形民俗文化財である。なお、デコノボウの中に、享保4年（1719）の製作年銘を持つものがある。

